

CSクレーン



株式会社吉田建設

特許 第5945086号

Made in 新潟 登録番号 28D1002 (2016.9.7)

CSクレーン開発の原点

●従来の施工方法の問題点



従来技術「敷鉄板・仮設道路による重機作業」

◇工事をする水路脇まで重機を搬入する必要がある

→ 敷鉄板などの土台が必要となり、経費が増加する

◇水路と農地が隣接している場合、農閑期に作業をする必要がある

→ 冬期中心となり、施工条件悪化

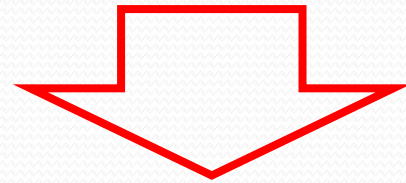
◇借地交渉が難航することがある

→ 工期の延長を引き起こす

CSクレーン開発の原点

●新技術開発のポイント

◇水路脇の用地を使わず、水路の直上のみで作業を完結できないか



◇水路の笠コンクリートを足場としたクレーンの開発

CSクレーンの概要



●主な構造

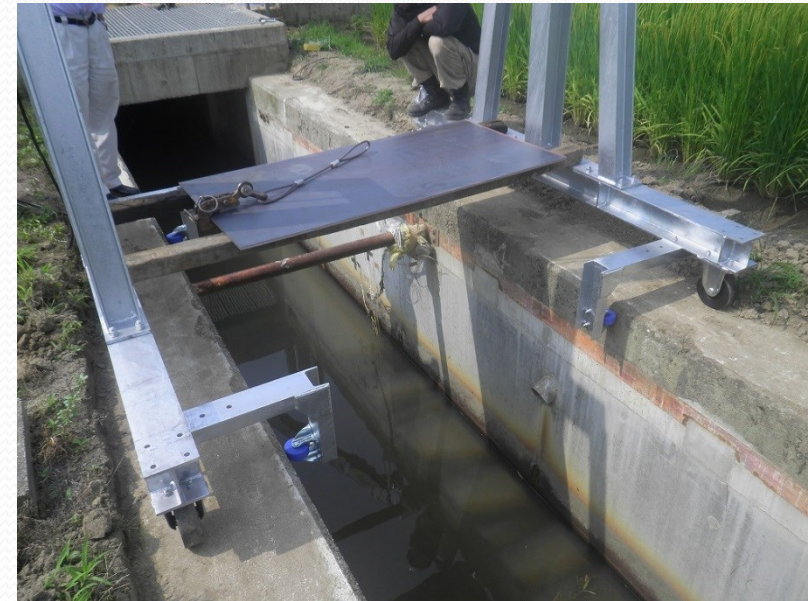
- ◇水路の笠コンクリートを足場として移動可能
- ◇クレーン本体と運搬用台車のセット
- ◇クレーンの直下に台車を入れることが可能

CSクレーンの概要

●構造上の特長

- ◇ガイドローラーを備え付けて横ぶれ、脱落を防止
- ◇クレーンの幅を調整することで水路幅1m～2.5mまで対応が可能
- ◇クレーン本体・台車は4t積みトラッククレーンで運搬可能
- ◇特許取得済(H28. 6. 3登録) 第5945086号

ガイドローラー拡大写真



適用範囲・効果

●適用範囲

- ・幅1m～3mまでの水路の各種工事
- ・吊上重量500kgまで可能
- ・笠コンクリートを有する水路

●CSクレーン使用による効果

- ・借地や敷鉄板の費用が不要になることで経済性が向上
- ・水路直上のみで作業が完結するため、
- ・重機の使用頻度が減ることで環境への悪影響が減少

作業イメージ

●水路上へのクレーンの配置



作業イメージ

●台車への資材積み込み・運搬



作業イメージ

●資材の吊り上げ・吊り降ろし



CSクレーン2号機

幅3m～5.5mの水路に対応



SPガード工法施工実績

発注者	工事場所	施工時期	工事名
西蒲原土地改良区	新潟市西蒲区	2014年10月	農業基盤整備促進事業 河井地区 排水路工事
西蒲原土地改良区	新潟市西蒲区	2015年9月～ 2016年3月	農業基盤整備促進事業 河井 地区 排水路工事
西蒲原土地改良区	燕市長所	2017年10月 ～2018年3月	長所支線排水路 水路補修工 事
新潟県 新潟地域振 興局 農林振興部	新潟市江 南区松山	2017年10月 ～2018年3月	亀田郷地区 糸魚堀排水路第 2次工事
新潟県 新潟地域振 興局 農林振興部	新潟市江 南区松山	2017年10月 ～2018年3月	亀田郷地区 糸魚堀排水路第 3次工事
新潟県 新潟地域振 興局 地域整備部	新潟市西 区道河原	2018年2月～ 2018年7月	一級河川西川県単河川施設 補修護岸補修工事

ご静聴
ありがとうございました。



株式会社 吉田建設

技術管理部 杉田

〒959-0042

新潟県新潟市西蒲区赤鋤1307-1

TEL: 0256-72-2391 FAX: 0256-72-7446

URL: <http://www.yoshidakensetsu.co.jp/>